



令和3年度 生徒会役員 退任式・任命式 !!

28日(木)に生徒会役員の退任式と任命式がありました。

～ 令和3年度 前期 生徒会組織 ～

【生徒会執行部】

会 長	宮脇 ころろ さん
副 会 長	本市 天太 さん 谷山 大治 さん
書記・会計	久野 高優 さん 平山 春菜 さん

【全校専門委員会】

委 員 会	委員長	担当職員
学 習	早田 彩乃 さん	櫻 井 先生
生 活	池田 優月 さん	久保田 先生
保体体育	木場 娃李 さん	松 田 先生
給 食	押領司 隼 さん	新 西 先生
文 化	内村 稟 さん	大 山 先生

旧生徒会役員の皆さん、お疲れ様でした。

生徒会役員としての1年間は、新型コロナウイルス感染症の影響で学校行事が変更や中止になりました。そのような状況でしたので、満足のいく活動ができなかったかもしれませんが、この経験を次へのステップにしていくことを期待しています。

～ 令和3年度 後期 生徒会組織 ～

【生徒会執行部】

会 長	平山 春菜 さん
副 会 長	大學 梅乃 さん 園田 伊織 さん
書記・会計	上野 海桜 さん 高原 陽希 さん

【全校専門委員会】

委 員 会	委員長	担当職員
学 習	眞方 晴也 さん	櫻 井 先生
生 活	温水 華凜 さん	久保田 先生
保体体育	今屋 桜介 さん	松 田 先生
給 食	久野 高優 さん	新 西 先生
文 化	内村 小春 さん	大 山 先生

執行部5名、全校専門委員長5名の後期生徒会役員の皆さん、1年間の任期よろしくお願ひします。

今までの生徒会は、どちらかと言えば「敷かれたレールの上を進む」作業が多かったように思います。ぜひ皆さんは、「自分たちでレールを敷く」ことをイメージして学校づくりに参画してもらいたいと思います。1年間、よろしくお願ひします。

目標と目的を持って ～人は、誰かのためなら諦めない～

「目標」と「目的」は、よく似た日本語だが、意味は全然違う。目標とは「〇〇に向かって」であり、目的とは「〇〇のために」だ。卒業式などで校長先生がよく「これからは明確な目標を持って生きてください」と激励する。目標を持つことは大事だが、ただ目標だけで目的がなかったら、さまざまな困難にぶつかった時、断念してしまうかもしれない。

しかし、目的を持っていたらそれが力になる。このことをクロスカントリースキーの日本代表選手、新田佳浩さんが教えてくれた。

新田さんの家は代々続く米農家だ。3歳の時、おじいちゃんが運転する農機具に左手を巻き込まれ、肘から先を失った。以来、障がい者としての運命を背負うことになる。

翌年の4歳からスキーを始めた。小学校に入るとクロスカントリースキーに夢中になった。3年生の地元の大会で優勝。その後、小学校卒業するまで4つの優勝トロフィーを手にした。しかし、中学になって壁にぶち当たった。両手でストックを使う健常者の選手に勝てなくなったのだ。中学3年の時、スキーをやめた。

転機は高校1年の時に訪れた。2年後に迫った長野パラリンピックの関係者が出場を勧めに来たのである。新田さんは、見せられたビデオに釘付けになった。新田さんと同じ左手のない選手が障がい者とは思えない速さで滑っていた。

新田さんは長野パラリンピックに出場した。結果は8位入賞。翌年の世界選手権では優勝した。そしてソルトレイクパラリンピックでは銅メダルを獲得した。

4年後のトリノパラリンピックでの金メダルは確実視されていた。スタッフは、新田さんの身体のハンディを科学的に分析し、腰の高さ、膝の角度など、右手一本でも健常者並にスピードが出るフォームを3年かけて作り上げた。

そして迎えた3度目のパラリンピック、トリノ大会。しかし、競技中、想定外のアクシデントが起こった。バランスを崩して転倒してしまったのだ。片手なのですぐに起き上がれなかった。

トリノから実家に戻った新田さん、家にひきこもった。そこにおじいちゃんがいた。

はっと気づいた。何のための金メダルなのか忘れていた。

おじいちゃんは、孫が片腕を失ったのは自分のせいだと、ずっと苦しんでいた。事故直後は息子であり、新田選手の父親・茂さんに「わしはこの子と一緒に死ぬ」と叫んだこともあった。

その後も自分を責め続けてきたおじいちゃんだった。新田さんはそのことを知っていた。

トリノを目指したとき、新聞記者にこう言った。「夢は、金メダルを取っておじいちゃんに掛けてあげて、『おじいちゃんは俺にとって最高のおじいちゃんだよ』と言ってあげることです」と。そのことを思い出した。目的が明確になった。

「目標は金メダル、目的はおじいちゃんのために」。新田選手は4度目のパラリンピック、バンクーバー大会に挑んだ。29歳になっていた。

そして、クラシカル10km及びスプリント1kmで2個の金メダルを獲得し、凱旋した。実家に戻った新田選手は、92歳のおじいちゃんの首に2つの金メダルを掛けた。

何かに挑戦しようとする時、「誰かのために」という目的があると人は諦めない。すごい力を発揮する。きっとそれが愛の力だからだろう。

